

地域再生計画（変更案）新旧対照表

新	旧
<p>(1～3 略)</p> <p>4 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>さらに、国の支援措置に基づき「人材の確保・育成」を柱とした支援事業を実施することにより、地域の特性を生かした地域経済の活性化と雇用機会創出を図るものである。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施を通じ、国際競争力を持つ農業者の育成や農畜産物のさらなるブランドイメージ向上と高付加価値化の推進を加速させること。 ・「食観光」の底上げと地域全体のホスピタリティの向上による滞在型観光施策の推進を支援すること。 ・地域の資源を生かした新産業の創出、経営多角化・異業種進出による業務拡大、地域内需要拡大に伴う関連事業者の業務拡大を促進し、雇用機会の拡大を図ること。 ・<u>特に帯広畜産大学の「知」を活用して、農畜産物の高付加価値化を目指し、製品の移出・輸出等の流通およびマーケティングまで全体を俯瞰できる、起業に必要な企画・行動力を有する専門的人材の育成を図ること。</u> <p>などにより、農畜産物を生産する1次産業と、加工・製造する2次産業、観光・サービスなど3次産業を一体的に発展させ、産業全体の活性化とバランスのとれた産業構造を確立し、雇用機会の拡大と併せ活力ある地域づくりを目指すものである。</p> <p>具体的には、地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）の支援を受けることにより、平成18年から20年にかけて403名の雇用創出を図るものである。</p>	<p>(1～3 略)</p> <p>4 地域再生計画の目標 (略)</p> <p>さらに、国の支援措置に基づき「人材の確保・育成」を柱とした支援事業を実施することにより、地域の特性を生かした地域経済の活性化と雇用機会創出を図るものである。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施を通じ、国際競争力を持つ農業者の育成や農畜産物のさらなるブランドイメージ向上と高付加価値化の推進を加速させること。 ・「食観光」の底上げと地域全体のホスピタリティの向上による滞在型観光施策の推進を支援すること。 ・地域の資源を生かした新産業の創出、経営多角化・異業種進出による業務拡大、地域内需要拡大に伴う関連事業者の業務拡大を促進し、雇用機会の拡大を図ること。 <p>などにより、農畜産物を生産する1次産業と、加工・製造する2次産業、観光・サービスなど3次産業を一体的に発展させ、産業全体の活性化とバランスのとれた産業構造を確立し、雇用機会の拡大と併せ活力ある地域づくりを目指すものである。</p> <p>具体的には、地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）の支援を受けることにより、平成18年から20年にかけて403名の雇用創出を図るものである。</p>

新	旧
<p><u>また、帯広畜産大学が実施する科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムにより、平成 19 年度から平成 23 年度までに、新たなアグリバイオ産業の創出に向けて、十勝管内で生産される農畜産物やバイオマスなどの地域資源に対してより付加価値の高い製品等への転換を目指したビジネスモデルや新規プロジェクトを企画・推進できる人材（コーディネーター）を 15 名とアグリバイオ産業を生産現場で担うリーダー（プレイヤー）を 25 名養成する。</u></p> <p><u>なおこの結果、製造品出荷額等の平成 25 年における数値について、平成 15 年との比較で 16%増を目指すものである。</u></p> <p><u>・平成 1 5 年 製造品出荷額 10,625,907 万円 出典：工業統計調査</u></p> <p><u>・平成 2 5 年 製造品出荷額 12,326,100 万円 目標数値</u></p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>本計画は、帯広市の取組みと連携して地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）の支援を受け、<u>また帯広畜産大学が実施する科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムと連携することにより、基幹産業である「食」を中心に地場産品のもつ潜在力を生かし、地域産業の活性化と雇用機会創出を図るものである。</u></p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 次産業分野では、優良な農地の維持と農畜産物の安定供給のため大規模な法人農家が増える中、それらに対し経営の安定に向けた支援を行うこと。 ・十勝ブランドのさらなるイメージ向上に向け、有機性廃棄物の再資源化によるクリーン農業の推進を支援すること。 ・第 2 次産業分野では、高付加価値化や企業の新事業進出、事業規模拡大、マーケティング戦略などに必要な、中核的人材や専門的技術者を確保する 	<p>また、製造品出荷額等の平成 25 年における数値について、平成 15 年との比較で 16%増を<u>めざす</u>ものである。</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>本計画は、帯広市の取組みと連携して地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）の支援を受けることにより、基幹産業である「食」を中心に地場産品のもつ潜在力を生かし、地域産業の活性化と雇用機会創出を図るものである。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 次産業分野では、優良な農地の維持と農畜産物の安定供給のため大規模な法人農家が増える中、それらに対し経営の安定に向けた支援を行うこと。 ・十勝ブランドのさらなるイメージ向上に向け、有機性廃棄物の再資源化によるクリーン農業の推進を支援すること。 ・第 2 次産業分野では、高付加価値化や企業の新事業進出、事業規模拡大、マーケティング戦略などに必要な、中核的人材や専門的技術者を確保する

新	旧
<p>こと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化を推進するうえで不可欠な、安全管理対策を推進できる人材や、地域企業が求める人材の育成を支援すること。 ・<u>環境調和・持続型の農畜産物を中心とする地域イノベーション駆動による自立的経済基盤の確立のために、アグリバイオ産業の創出に資する人材を育成すること。</u> ・第3次産業分野では、地域が推進する滞在型観光振興を食の分野で支援すること。 ・ホスピタリティの向上による質の高い観光サービスを提供できる人材を育成すること。 <p>などにより、地域の特性を生かした産業振興を図るうえで、今求められている人材の確保・育成を柱とした事業を展開し、地域企業の再生と雇用の創出に結び付けていくものである。</p> <p>5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 該当無し</p> <p>5 - 3 その他の事業</p> <p>5 - 3 - 1 受けようとする支援措置</p> <p>A 地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）【C0901】</p> <p>(1)～(4)略</p>	<p>こと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化を推進するうえで不可欠な、安全管理対策を推進できる人材や、地域企業が求める人材の育成を支援すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・第3次産業分野では、地域が推進する滞在型観光振興を食の分野で支援すること。 ・ホスピタリティの向上による質の高い観光サービスを提供できる人材を育成すること。 <p>などにより、地域の特性を生かした産業振興を図るうえで、今求められている人材の確保・育成を柱とした事業を展開し、地域企業の再生と雇用の創出に結び付けていくものである。</p> <p>5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 該当無し</p> <p>5 - 3 その他の事業</p> <p>5 - 3 - 1 受けようとする支援措置</p> <p>地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）【C0901】</p> <p>(1)～(4)略</p>

新	旧
<p><u>B 科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム</u> <u>【B0801】</u></p> <p><u>(1) 実施主体</u> 帯広畜産大学(地域共同研究センター)</p> <p><u>(2) 実施を希望する期間</u> 平成19年度～平成23年度</p> <p><u>(3) 事業概要</u></p> <p><u>テーマ</u> <u>「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成」</u></p> <p><u>育成する人材</u> <u>新たなアグリバイオ産業による持続的自立的経済基盤を確立するために、十勝管内で生産される農畜産物やバイオマスなどの地域資源に対して、より付加価値の高い製品等への転換を目指したビジネスモデルや新規プロジェクトを企画・推進できる人材(コーディネーター)と生産現場におけるリーダー(プレイヤー)を養成する。</u></p> <p><u>人材育成の手法</u> <u>帯広畜産大学の夏季・冬季休業を主に利用し、座学とOJTを組み合わせて短期集中型で行うプレイヤー研修(生産現場リーダーの育成)と、講義と個別指導・グループ討議を中心に進めるコーディネーター研修を開講する。講師陣は、帯広畜産大学や十勝管内の公設試験研究機関の研究者により、農学・生産学・衛生学を担当し、経営学、ビジネスモデル構築、知的財産管理については、主に小樽商科大学、金融機関、民間コンサルタントの外部講師で、またバイオエネルギーや工学関連は、主に北見工大、釧路高専からの外部講師で構成する。</u></p>	

新	旧
<p>5 - 3 - 2 その他の関連事業（帯広市独自事業）</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) ~ 略</p> <p><u>産学官連携に向けた取組</u></p> <p><u>帯広畜産大学や十勝管内の試験研究機関などの研究成果を企業の事業化に結びつけ、地域産業の活性化をはかるリサーチ&ビジネスパーク構想の策定に向け取り組んでいる。</u></p> <p><u>特に平成17年には地域社会との連携による研究成果の普及とその活用を推進を明確に打ち出し、相互協力の一層の充実を図ることを目的として、帯広畜産大学と包括的連携協力を締結している。</u></p> <p>(3) 略</p> <p>6 計画期間</p> <p>認定の日から<u>平成24年3月末まで</u></p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>帯広地域雇用創出促進協議会において、地域提案型雇用創造促進事業を活用した求職者や事業所に対して毎年度アンケート調査を実施し、事業の取組及び雇用の創出に対する評価を行う。</p> <p><u>また、帯広畜産大学において実施する人材育成事業においては、帯広畜産大学・帯広市・北海道十勝支庁・その他関係機関等により事業運営委員会を発足させ、事業の進捗状況等を管理するとともに、育成した人材のフォローアップを行う。</u></p> <p><u>あわせて、「4」に記載されている人材養成数と製造品出荷額等の数値目標について、達成状況の評価を行う。</u></p> <p>8 (略)</p>	<p>5 - 3 - 2 その他の関連事業（帯広市独自事業）</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) ~ 略</p> <p>(3) 略</p> <p>6 計画期間</p> <p>認定の日から<u>平成21年3月末まで</u></p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>帯広地域雇用創出促進協議会において、地域提案型雇用創造促進事業を活用した求職者や事業所に対して毎年度アンケート調査を実施し、事業の取組及び雇用の創出に対する評価を行う。</p> <p>8 (略)</p>